

# 12月定例会での

# 一般質問



議員が自身の政策提案も含めて、市に  
対して考えを聞くのが一般質問です。  
皆さんの生活にかかわる内容がきつと  
あります。

各議員の質問の中から一項目を  
ダイジェスト版でお知らせします。  
すべての質問項目や動画は、市議会  
ホームページで公開しています。



↑動画はコチラ

### 多摩湖横断ゴンドラ構想を実現し 公共交通の充実と 観光魅力のアップを



市民クラブ  
未来 毅志  
中

**Q** 多摩湖から見る狭山丘陵の緑と桜、紅葉、富士山の眺望など、観光価値は高く、狭山丘陵が本市の南の玄関口として扉を開けることが、今後の所沢の未来をつくっていくことだと思ふ。多摩都市モノレールの所沢方面への延伸の実現が難しいのであれば、多摩モノレール上北台駅から西武球場前駅をゴンドラで結ぶ、多摩湖横断ゴンドラ構想を今後検討してみてもどうか、市長の見解を伺う。

**A** 本市の大きな魅力である狭山丘陵の大自然を体感でき、さらには多摩地域の回遊性もつくることのできるような、話題性のあるゴンドラは、有効な乗り物として大変興味深いものである。財政面や関係機関との調整などの課題が少なからずあり、行政としてできることには限りがあるところだが、本市のさらなる魅力の創出という点においては、可能性を秘めているものと考えている。

### ケアする人のためのケアを



党 恭子  
公明 亀山

**Q** 在宅での障害児の育児ケアは、親や介護者にとって大きな負担であるが、本市では、その負担を軽減するための訪問型在宅レスパイトケア事業を実施していない。充実した支援という観点から、今後は医療的ケア児のための看護師の確保や育成の支援などレスパイト施設を充実させ、利用しやすいように支援していくことが重要だと考えるが、どのように進めていくのか、見解を伺う。

**A** 医療的ケア児支援の情報交換会を引き続き実施することで、支援者間のノウハウの共有を進め、実際に支援を担える地域内の人材を育成していく。また、医療的ケア児受入設備整備事業により、既存の障害児通所支援事業所へのベッド等の購入補助を行うことで、受入先を増やすとともに、これらの取組を通じて、地域の支援力の向上を図っていく。

### よもぎ橋周辺の 浸水被害対策を



至誠  
クラブ 孝  
秋田

**Q** よもぎ橋は、上安松と東村山市秋津町4丁目をつなぐ柳瀬川に架かる橋である。平成28年の台風9号、令和元年の台風19号により甚大な被害を受けた上安松道長自治会16班から、令和6年10月に市長に要望書が提出されている。よもぎ橋周辺は、行政区が入り乱れており、埼玉県、東京都、東村山市、本市で膝を突き合わせたの会議が必要だと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 要望をいただいた、よもぎ橋周辺の浸水被害については、これまでも甚大な被害が発生しており、解決に向けて早期に取り組むべき課題であると認識している。まずは市の関係部署での被害状況の再確認と、どのような対策が必要かを調査するように指示したところである。今後は、これらの調査内容を踏まえ、市と県、東村山市で協働体制を築き、よもぎ橋周辺の総合的な浸水対策に向けて進めていきたいと考えている。

### 新所沢パルコ跡地の利用協議の 進捗状況について



新・維  
所属の 会  
議員 石  
原 無  
参 政 自  
由 民

**Q** 本年2月で新所沢パルコが閉店して一年を迎える。パルコ跡地の活用については将来性を考えていくことが必要だが、あまりにも時間をかけ過ぎてはならないと思っている。これまでの協議の結果、跡地利用の方向性は決まったのか。決まっていなかったのであれば、進捗状況について公開可能な範囲で、地元住民や市民に状況を伝えるべきだと考えるが、見解を伺う。

**A** 新所沢パルコ跡地の活用については、地権者の合議体である「新所沢パルコ将来計画検討会」において、令和5年7月から令和6年10月までの間に計10回にわたり会議が開催され、地権者による合意形成に向けた協議が行われている。このことは、地元自治会の方にも説明させていただいているが、現在は地権者の意向を踏まえて方向性を整えている段階なので、いましばらくお待ちいただきたい。

### 聴覚障がい者に寄り添った 防災対策を



日本共産党  
中井めぐみ

**Q** 聴覚障害者協会から、災害時に「資格を持った手話通訳者」と「手話ができません」という人が区別できるように、手話通訳者にはビブスを着用してほしいとの要望が寄せられている。手話通訳者と手話ができるという人では全く異なり、災害時は生死に関わる問題であるため、手話通訳者と一目で分かるように区別していただきたいが、見解を伺う。

**A** 災害時に聴覚障害者に情報提供していく上で、手話通訳者のみならず手話のできる方にも対応していただくことが必要だと考えている。そのため、社会福祉協議会が提供する「手話ができません」と表示する聴覚障害者災害時援助用バンダナの使用を想定している。このバンダナは、所沢市手話通訳・要約筆記派遣事務所に登録している手話通訳者にも既に渡しており、ビブスに代わるものとして活用できると考えている。ビブスの必要性については、他市の状況も参考にしながら研究していく。

### 蛍光灯の2027年問題に向けて 公共施設のLED化の推進を



維新の会  
所属  
無所属  
議員  
佐野 豊

**Q** 家庭やオフィス、公共施設で長年利用されてきた蛍光灯だが、環境と健康への影響を理由に、2027年末に製造と輸出入が禁止される。2027年ぎりぎりにLEDに移行すると、全体の価格が高騰する可能性があるがあり、いち早く進めるべきである。市の事業の中で優先順位が高いと考えるが、見解を伺う。

**A** 本市の公共施設のLED化は、以前から、ゼロカーボンシティの実現として、LED化を進めていくという考え方はあった。財政的な状況もあり、なかなか進まなかったこともあるが、今回、蛍光灯の2027年問題が浮上してきたことで、公共施設のLED化は加速度的に進めていくものだと思っている。施設の電気がつかなくなるといった、市民サービスの低下を招くことはあってはならないので、市として重要な政策だと考えており、今後、計画的に取り組んでいく。

### 所沢市まちづくりセンター 設置条例の見直しを



日本共産党  
石川 健太

**Q** 令和6年9月定例会で可決された「所沢市まちづくりセンター設置条例」だが、市民の政治活動の自由や宗教の自由を脅かしかねない、利用者を制限するような条例である。条例第7条第2号「政治的活動又は宗教的活動に使用するおそれがあるとき。」に関しては、条例の改正が急務だと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 所沢市まちづくりセンター設置条例は、「社会教育法」上の公民館として運営するため、設置目的、センターの位置づけ、業務内容を明確にしており、市長部局でも引き続き公民館運営審議会を置くこととしている。また、条例については、これまでの使用に新たな制限を加えることを意図したものではない。現在、市民部において条例施行に必要な細部を規定する施行規則の策定を行っており、新たな条例においても従前の公民館と同じように利用できるようにする。

### 大学進学に活用できる 支援策を



民主党  
新選組  
議員  
佐野 恵子

**Q** 本市の育英奨学金は、高等学校または高等専門学校（生徒が対象であり、大学生向けにはない。大学卒業後、社会人になっても給料を学費の返済に充てることで預金がしづらく、家庭を持つことをちゅうちよする若者がいる現状がある。岩手県陸前高田市では、返済不要の給付型奨学金事業のガバメントクラウドファンディング②を実施しているので、本市でも検討してみたいと考えるが、見解を伺う。

**A** ガバメントクラウドファンディングは、財源確保の観点からはあるが、財政上の制約もあることから難しいものと考えている。しかしながら、大学等の教育費に対する支援については、国において拡充されてきており、加えて、本市の給付事業である育英奨学金・遺児奨学金は、市の単独事業として他市に例のない事業であることから、引き続き支援を必要とする方が利用できるように、周知に努めていく。

### 水道スマートメーター 導入の検討を



民主党  
新選組  
議員  
佐野 恵子

**Q** 水道スマートメーターは、検針業務を遠隔で行えるだけでなく、漏水の早期発見、高齢者の見守り、防災時の迅速な対応など、様々な利点がある。本市の現行の検針業務の人員費や運用コストを削減しつつ、業務の効率化を図る観点から、水道スマートメーターの導入をどのように評価しているのか。また、導入に当たっての課題は。

**A** 検針員の人手不足が深刻化している地域では、水道スマートメーターの導入と専用アプリの遠隔確認により、人手不足の解消につながるものと認識している。本市においては、現在のところ検針員が不足している状況ではないが、水道スマートメーターを導入する場合、電子メーターや通信機などのインフラコストのほか、通信費用などのランニングコストについても、現行の検針費用よりもコスト高になってしまふことが課題として挙げられる。

### 所沢駅西口の 交通対策について



維新の会  
所属  
無所属  
議員  
佐野 浩

**Q** 県道久米所沢線のワルツ所沢前の車線が大踏切側に左折するレーンがなくなってしまう影響で、局所的に渋滞が発生している。地域からは、左折レーンを再び設けてほしいという声が多く寄せられているが、対応は可能なのか。

**A** 道路整備での車線などの交通規制を伴う内容については、埼玉県警察との協議が必要となる。この協議においては、大踏切から来た車両が左折または右折する際、県道久米所沢線の左折レーンで停車している車両の死角から直進車両が来ると接触事故などの危険があるとの考えが示されたことから、交差点の安全性を確保するために左折レーンを撤去することになった。県道久米所沢線が完成後、再度、埼玉県警察と協議を行ったところ、警察としては、現在の交差点の形状が安全な形であるとしながらも、地域の声も大切にすべきとの考え方が示されたことから、車線の書き直しを予定している。

保育施設の3歳児クラス以上の

受皿確保策を



新・維新の会所属の  
民主党議員  
西村 純一郎  
参政 神戸

**Q** 地域型保育園や2歳児クラスまでの認可保育園などの小規模園は増えているが、3歳児クラス以上の保育施設の受皿が不安だという声が寄せられている。そのようなニーズに対して市長の見解を伺う。

**A** 既存の保育施設での定員増や幼稚園の認定こども園への移行などにより定員の拡大を図るとともに、必要となる保育士を確保するため、保育士の給与改善補助金の増額や奨学金の返済支援

物価高騰の中  
生活保護費の拡充を



日本共産党  
西村 ともみ  
夫作

**Q** 財務省は、現在の生活保護基準額が一般低所得世帯の消費水準を上回っているとして引下げを主張している。生活保護受給者は、物価高騰の下で切実な生活実態を訴え、物価高騰に見合う約10%の基準額引上げを求めて、国会議員への緊急要請行動が行われている。全国市長会でも基準額の引上げを要求しており、基準額の引下げなどあり得ないと感じている。国に対し、生活保護費の削減中止と基準額引上げを求めたいと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 生活保護基準額の引上げの要求については、全国市長会を通じて、社会福祉施策の充実強化に関する提言において、生活や住宅をはじめとする扶助費基準について、物価高騰の状況を踏まえた見直しを図ることを求めている。報道によると国では、関係省庁で協議が行われていると聞いているので、その動向を見守っていく。

所沢市公共施設長寿命化計画に

基づいた取組の推進を



民主党議員  
清水 一隆  
島田

**Q** 本市の今後の児童生徒数の推計によると、少子化の影響により、小学校1年生の生徒数が令和12年度には2,000人を切ることになる。小中学校の統廃合について、藤本前市長は「学校はこころのふるさとであり、統廃合はやらな

い」と断言していたが、校舎の老朽化や児童生徒数の減少、教員の成り手不足などを考慮すると、いずれは避けては通れない道なので

はないか。やむを得ない場合は、統廃合も選択肢の一つと考えているのか、市長の見解を伺う。

**A** 所沢市公共施設長寿命化計画にも位置づけられているとおり、学校は地域の皆さんにとって身近な施設であることから、重要な施設であると考えているが、今後、児童生徒数の減少などの環境変化があった場合には、適切に対応していく必要があると考えている。

小手指ヶ原公園の予定地に

郷土資料の収蔵施設の整備を



民主党議員  
山手 隆行  
至誠クラブ  
大館

**Q** 本市では、市制施行80周年に向けて、中核市移行、保健所の建設、さらに市民医療センターの再整備計画が着々と進んでいる。令和5年の選挙で、市長は「所沢市はやれるのにやらな

い」と何回も繰り返しており、公約の23番目に「所沢市の歴史・文化などを保存できる場所の設置」と記載している。そこで、博物館構想が難しいのあれば、市では小手指ヶ原公園構想があるので、歴史を大切にす

参議院議員通常選挙に向けて

期日前投票所の増設を



民主党議員  
山口 美浩  
公明

**Q** 現在の2か所の期日前投票所は市の中心部で駅も近いが、三ヶ島や山口、富岡柳瀬地区からは車での移動が必須であり、有権者にと

って大きな負担である。投票機会の喪失は大きな課題であり、市民サービス向上の視点からも期日前投票所を増やすべきだと考えるが、見解を伺う。

**A** 選挙管理委員会では、これまで当日投票所の充実を優先して取り組んできたが、様々な意見や要望をいた

所沢航空記念公園に整備予定の

スケートボード場について



新・維新の会所属の  
民主党議員  
佐野 允彦  
自由参政

**Q** 東京オリンピックでの日本人選手の活躍により、スケートボードは近年注目されている。スポーツとしてのスケートボードをもっと浸透させることは大切で

あり、そのためには練習環境の整備は必須である。所沢航空記念公園内のスケートボード場の設置に向けた計画の現状は。また、計画当初では噴水付近に設置予定だったが、公園南西側の少年スポーツ広場脇に場所が変更となった。その理由

を伺う。

**A** 県に確認したところ、所沢航空記念公園内にスケートパークを整備するための基本構想を検討するため、現在プロポーザルを実施しているとのことだった。設置場所の変更については、当初計画した場所ではドッグランが近くにあり、スケートボードの音で犬が驚いてしまうなどの弊害があることが分かり、少年スポーツ広場のトイレの南側に変更したとのことである。

闇バイト強盗に  
加担させないために



至誠クラブ  
立憲リベラルの会  
谷口 雅典

**Q** 闇バイト強盗が全国で多発し、本市でも事件が起こり、体感治安が悪くなっている。闇バイトに加担して逮捕された人のコメントでは、「借金があり、高額バイトの誘いに手を出してしまった」という後悔の言葉が報道されていた。犯罪への加担を防ぐ対策の中期的な課題として、お金の使い方、金銭管理能力、自己管理能力を身につけさせる教育が必要になると実感しており、金銭管理教育をさらに強化する必要があると考えるが、見解を伺う。

**A** 家庭科の学習の消費生活・環境の分野において、小学校では収入と支出のバランスを考えること、中学校では金銭の管理と購入について学ぶ機会を設けている。また、適切な金銭管理を行うことは、自立した生活をしていく上で大変重要なスキルであり、児童生徒に収入の範囲で計画的にお金を使うことなどを指導することは大切であると考える。

中核市とまちづくりについて



立憲クラブ  
立憲新選組  
赤川 洋二

**Q** 本市のまちづくりの課題をどう捉え、中核市制度を利用して、どのようなまちづくりを目指していくのか、市長の見解を伺う。

**A** 人口減少社会の進展や自然災害の激甚化、DXの推進、新興感染症の流行など、本市を取り巻く社会情勢の変化に伴う市の課題は様々である。その上でどのようなまちづくりをするかは、第6次所沢市総合計画後期基本計画で示しているが、まちの未来に向けた取組として、「こどもを中心としたまちづくり」と「中核市移行による地方分権の推進」をはじめとする行政全般の諸課題の解決に取り組んでいく。中核市になることで様々な権限が市に移譲され、これまで以上に市民に寄り添った形で、より質の高い行政サービスを行うことが可能となるものと考えている。中核市への移行を一つの手段として、市民にとって、もっと暮らしやすいまち、もっと自主性のあるまち、もっと魅力あるまちを実現していく。

多頭飼育崩壊  
環境部門と福祉専門職と  
連携した課題解決を



立憲リベラルの会  
末吉美帆子

**Q** 多頭飼育をしている飼い主が精神的、身体的、経済的問題がある場合、地域社会からの孤立や、ごみ屋敷などの社会問題にもなりかねない。環境省のガイドラインでは、行政の異なる部署の連携で飼い主の生活支援や再発防止を行う重要性を示している。東京都港区では、保健所が福祉に関わる方たちとペット飼育問題や多頭飼育について勉強会を開催している。本市でも環境部門と福祉専門職との連携や広報で啓発を検討してもらいたいと考えるが、見解を伺う。

**A** ペット問題に関する福祉専門職への周知啓発については、所管する県の担当部局より福祉専門職などに向けたチラシ配布の依頼を受けて、協力しているところである。本市としては、こうした県の取組を注視するとともに、それぞれのケースの支援の中での環境部門や専門職を含む関係機関と連携した課題解決に引き続き取り組んでいく。

発達障がいのある方にも  
優しい対応を



至誠クラブ  
斎藤 由紀

**Q** 発達障がいに対する療養の必要性、重要性を強く感じている。こども支援センター「発達支援エリア」「マーガレット」の発達に関する専門相談件数が増加傾向であり、今後、発達障がいに対する支援を市としてどのように対応の幅を広げていく予定なのか、見解を伺う。

**A** 発達障害児への支援として、マーガレットや松原学園などでの相談支援や、放課後等デイサービスでの通所支援を引き続き行う。さらに、周囲からは分かりづらい障害である発達障害については、周囲や地域の理解、支援力を高めることも必要だと考えている。そのため、発達障害の特性や関わり方を理解するための保護者向けグループ活動や、研修・講座を通じて地域全体の支援力を底上げし、包括的な子育て環境の充実を目指していく。

子どもたちの  
金融リテラシー向上を



さきかけ  
荻野 泰男

**Q** 専門家や金融機関など外部のリソースを活用した金融経済教育がより多くの学校で実践されるべきであると考えますが、教育長の見解を伺う。

**A** 現在、キャッシュレス決済の普及が急速に進んで、日常生活で現金を扱う機会が減っているという中で、子どもたちに対して金銭感覚を養うための教育は大変重要である。子どもたちを指導する際には、外部の人材やプログラムなどを活用する

ことは有効であると考えている。今年度、市内小学校の5年生の家庭科の授業で、小学生のお金への関心、知識向上などに貢献することを目的に実施した「金融機関が主催する金融リテラシーセミナー」など、外部のリソースの活用について、今後も研究し、学校に情報提供するとともに、金融に関する正しい知識をしっかりと身につけられる子どもを育てていきたいと考えている。

避難所となる体育館の  
窓ガラスに飛散防止対策を



立憲新選組  
植竹 公明

**Q** 災害発生時、小中学校の体育館が避難所となる。最大震度7を記録した東日本大震災では、体育館の窓ガラスの飛散被害が相当数あった。本市で大地震が発生した場合、体育館の窓ガラスが割れてしまうおそれがあり、床にガラスの破片が飛び散った状態の体育館では避難所を開設することができない。そこで、体育館の窓ガラスに飛散防止用フィルムを貼るといった対策が必要だと考えるが、見解を伺う。

**A** 体育館の窓ガラスだが、地震によってガラスが破損し飛散する可能性があることから、飛散防止用フィルムを貼る方法は有効であると認識している。現在、体育館の非構造部材の耐震化としては、照明器具やスピーカー、バスケットゴールなどの落下防止策から始めているところであり、窓ガラスについては、他の事業の進捗状況を考慮した上で、順次進めていきたいと考えている。



不登校児童生徒に対して  
学びの場の確保を



公明党  
大久保 一

**Q** 小中学校の不登校の児童生徒は、全国で34万人を超えており、本市では令和5年度で862人である。もはや不登校は学校や社会に問題があると言わざるを得ないところに来ているが、本市での不登校支援について、教育長の思いは。

**A** 不登校対策については、多くの自治体を取り組んでいることを参考にする必要がありと思うが、人と人とのつながりを通して、できるだけ学校に復帰させることを目標に、取り組む必要があると考えている。多くの人や仕組みを取り入れ、不登校を生まないための学校づくり、児童生徒に対して適切な指導ができる教員の資質向上、さらに、不登校になってしまった場合のフLOORアップ体制の充実など、様々な側面から対策を、様々な側面から対策を、実行し、一人でも多くの子どもたちが学校に戻ってこられるように、そして不登校を生まないように、教育委員会としても研究と実践を重ねていきたいと考えている。

新所沢駅西口のシンボル  
女神像の噴水の再生を



共産党  
日本  
小林 澄子

**Q** 新所沢駅西口のシンボルである女神像（歓びの像）の噴水について、地元自治会や住民から噴水を残してほしいとの声が改めて寄せられている。その中には、市が財政的に厳しいのであれば、クラウドファンディングによる資金調達の手法の提案もあった。令和6年9月定例会の一般質問の答弁では、「今後については、各自治会に意見を伺った上で、噴水池の今後の方針を決定していく」とのことだった。各自治会からの意見聴取は終わっていると思うが、どのような意見が出されたのか。

**A** 各自治会からの意見聴取については、新所沢地区の全16自治会にアンケートを実施した。各自治会からは、歓びの像を残して花壇として地元で管理していく案や、低木を植樹して市で管理していく案、噴水の修復を希望する案などの意見をいただいている。

令和7年5月1日から通年会期制が始まります

会期を通年（1年間）として定め、会期最終日の翌日に次の会期が始まるので、閉会中の期間はなく、常に議会が活動能力を有し、市長の招集を待たずにいつでも機動的に会議を開くことができます。

■年間スケジュール

これまで定例会の始まる日が年によってまちまちとなっていました。定例会議の始まる日を6月1日、9月1日、12月1日、2月18日に固定化することで、スケジュールが分かりやすくなります。

令和7年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年	1月	2月	3月	4月
	5月15日 臨時会議	6月1日~ 定例会議			9月1日~ 定例会議			12月1日~ 定例会議				2月18日~ 定例会議	
会 期 (令和7年5月1日から令和8年4月30日まで)													

※ 定例会議の詳細な日程については定例会議の始まる日の一週間前の議会運営委員会で決定します。